

令和2年度屏風ヶ浦地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>公正・中立性の確保する為に、相談受付時「ハートページ」、主任ケアマネージャが作成している「磯子区ケアマネ空き情報」等活用することで、相談者が自由に選択できるように配慮する。</p> <p>また、重要事項説明書にも標記することで、契約時等にお客様に説明し周知を図る。</p> <p>交流の貸館業務については「貸館マニュアル」に準じて公正に実施をする。貸室利用の不公平がないよう、また多くの方に貸室を利用できるように月初に「貸室希望票」にて団体の希望を確認する。希望の調整を直接団体とすることで、すべての団体が万遍なく利用できるように調整を行う。貸室業務については、すべての職員が同様の対応ができるよう内部で共有し、偏りが発生しないよう留意する。</p>	<p>事故防止として、法人統一帳票の「ヒヤリハット報告書」や「事故報告書」「事故区分」を活用して、事故の可能性を把握し、未然に防ぐ取り組みを行う。</p> <p>行政発信の市内事業所事故報告を共有し、自事業所でも起こりえる事故と捉えることで事故の予見、予防に活用する。</p> <p>職員に対して事故防止、個人情報の保護に関する研修を年1回以上実施する。年度途中にて新たに配属された職員には出勤初日に研修を行うことで、危機意識を持って仕事に取り組みめるよう促しを行う。</p> <p>個人情報を外部へ発信するFAXや郵送作業については、必ず2人以上で手順を確認していく。その際、指さし確認及び声を出して確認をするようにする。法人が全職員に配布する「品質方針書」にも個人情報保護に関する倫理規定が定めおり、記載し周知を図るとともに、漏洩事故が発生しないよう注意喚起をしていく。</p> <p>個人情報の保管について、保管場所の施錠を基本とし、最終退館者はチェックリストを基に施錠状況を確認し、個人情報保護に努める。</p>
実績	<p>相談者に対しての公正・中立性確保については、取組計画通り実施できており、次年度に向けても継続的に取り組む事となる。</p> <p>貸館業務については、今年度コロナウイルス感染症拡大防止の為、休館や利用の制限、利用される方の自粛等もあったが、不公平が生じないよう配慮しながら利用頂くことができたと感じている。</p> <p>活動再開が難しい団体の方についても、どの様な準備をすれば感染症対策となり活動再開できるか等アドバイスをを行い、貸館利用に繋がるよう連絡を行うことで、来館の機会を無くさないよう心がけて連絡を行った。</p>	<p>事故防止としての取り組みに関しては、法人統一帳票を使用し、事故防止委員会によるヒヤリハットからの分析を行い、職員へ事故防止を訴えた結果、今年度は大きな事故もなく運営することができた。</p> <p>個人情報漏えい事故が3件発生したが、原因分析、再発防止対策の徹底を行い、発生後の再発は起きていない。対策を継続する事で、次年度は個人情報漏えい事故0件を目指すことができるかと思われる。</p> <p>個人情報管理についても、現在の対応を継続し、保護に努めていきたい。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	地域の資源(インフォーマルサービス)を活かしていきながら、個々の目標や希望に向けた計画を作成し実行することが出来る。	包括との連携を密に行い、地域の社会資源を活かして、質の高いケアマネジメントを実行することができる。
職員体制	ケアマネジャー2名 主任ケアマネジャー1名 社会福祉士2名(1名) 保健師(看護師) 1名	ケアマネジャー3名(2名常勤、1名非常勤) 主任ケアマネジャー1名 合計4名
契約者数	130件	131件

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	個々の生活環境に配慮した、生活に密着した機能訓練を実施し、生活全体の向上を目指していく。「介護予防」に着目し、機能訓練の実施、他社との交流を積極的に行うことで社会参加を促し、自身の存在意味を感じて頂けるようにサービス提供を実施する。	「認知症対応型」として、ご利用者個々の状態を把握した上で関与することで、心身の安定、身体機能の低下防止を図り、在宅生活を継続できるよう支援する。	

実施体制	【実施日数】 通所介護 毎週月・火・木・金・土曜日 介護予防 水曜日及び日曜日 【提供時間】 通所介護 9:30～16:30 介護予防 日曜日10:00～13:00 水曜日 ①10:00～13:00 ②13:10～16:10 【定員】 通所介護 45名 介護予防 日曜日35名 水曜日 ①②各33名	【実施日数】 毎週水曜日 【提供時間】 10:00～16:00 【定員】 8名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	通所介護 1食あたり750円 (希望にてお茶・お菓子代50円) 認知症対応型 1食あたり650円 (希望にてお茶・お菓子代150円)	1食あたり750円 (希望にてお茶・お菓子代50円)	
職員体制	通所介護 管理者・生活相談員1名、 介護職員7名、看護師2名 第1号通所事業 管理者・生活相談員 1名、介護職員6名、看護師2名	管理者・生活相談員1名、介護職員2名	
契約者数等	【延べ利用者数】 10,245 【契約者数】 1,443	【延べ利用者数】 84 【契約者数】 21	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和2年度「横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,185,000	62,643	20,247,643	19,941,697	305,946	横浜市より(補正:WHH整備62,643)
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)		137,000	137,000	137,000	0	
雑入	0	345,421	345,421	345,421	0	
印刷代		257,830	257,830	257,830	0	
自動販売機手数料		87,591	87,591	87,591	0	
その他			0	0	0	
収入合計	20,185,000	545,064	20,730,064	20,424,118	305,946	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,600,000	0	13,600,000	11,637,474	1,962,526	
本俸	11,225,000		11,225,000	7,102,068	4,122,932	
社会保険料	1,675,000		1,675,000	2,412,514	△ 737,514	
手当計	660,000		660,000	1,979,976	△ 1,319,976	
健康診断費	40,000		40,000	70,876	△ 30,876	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0	72,040	△ 72,040	
事務費	2,043,000	0	2,043,000	2,563,447	△ 520,447	
旅費			0	25,782	△ 25,782	
消耗品費	700,000		700,000	899,171	△ 199,171	
会議随費			0	0	0	
印刷製本費			0	166,575	△ 166,575	
通信費	320,000		320,000	424,996	△ 104,996	
使用料及び賃借料	0	0	0	144,363	△ 144,363	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)			0	8,400	△ 8,400	
その他			0	135,963	△ 135,963	
備品購入費	150,000		150,000	105,924	44,076	
図書購入費	100,000		100,000	92,941	7,059	
施設賠償責任保険	60,000		60,000	92,941	△ 32,941	
職員等研修費	15,000		15,000	4,324	10,676	
振込手数料			0	0	0	
リース料	628,000		628,000	455,882	172,118	
手数料			0	803	△ 803	
地域協力費	70,000		70,000	4,800	65,200	
その他			0	144,945	△ 144,945	
事業費	886,000	0	886,000	425,249	460,751	
運営協議会経費	42,000		42,000	21,020	20,980	予算:指定額
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)	844,000		844,000	404,229	439,771	
その他			0	0	0	
管理費	1,943,000	0	1,943,000	1,981,437	△ 38,437	
光熱水費	1,200,000		1,200,000	923,550	276,450	
清掃費	220,000		220,000	378,546	△ 158,546	
機械警備費	66,000		66,000	45,210	20,790	
設備保全費	430,000	0	430,000	442,948	△ 12,948	
空調衛生設備保守	200,000		200,000	210,958	△ 10,958	
消防設備保守	20,000		20,000	30,137	△ 10,137	
電気設備保守	60,000		60,000	46,111	13,889	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	150,000		150,000	155,742	△ 5,742	
共益費			0	0	0	
その他	27,000		27,000	191,183	△ 164,183	
修繕費	474,000		474,000	168,054	305,946	予算:指定額
公租公課	1,088,000	0	1,088,000	1,088,000	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	1,088,000		1,088,000	1,088,000	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	2,425,100	△ 2,425,100	
支出合計	20,034,000	0	20,034,000	20,288,761	△ 254,761	
差引	151,000	545,064	696,064	135,357	560,707	

自主事業費 収入	0	137,000	137,000	137,000	0
自主事業費 支出	844,000	0	844,000	404,229	439,771
自主事業 収支	△ 844,000	137,000	△ 707,000	△ 267,229	1,522,755

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	87,591	87,591	87,591	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	8,400	△ 8,400	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	87,591	87,591	79,191	△ 22,476	

*各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度「横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,212,408	0	29,212,408	26,957,324	2,255,084	横浜市より
指定管理料【介護予防】	143,000		143,000	136,976	6,024	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,795,000		5,795,000	5,795,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】		137,400	137,400	137,400	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】		11,200	11,200	11,200	0	
雑入	0	29,000	29,000	29,000	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他		29,000	29,000	29,000	0	看護学生実習受け入れ謝礼金
その他	0		0	0	0	
収入合計	35,150,408	177,600	35,328,008	33,066,900	2,261,108	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,060,000	0	32,060,000	32,114,158	△ 54,158	
本俸	22,400,000		22,400,000	16,983,142	5,416,858	
社会保険料	3,610,000		3,610,000	7,121,858	△ 3,511,858	
手当計	6,000,000		6,000,000	7,772,844	△ 1,772,844	
健康診断費	50,000		50,000	119,101	△ 69,101	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0	117,213	△ 117,213	
事務費	718,000	0	718,000	1,570,163	△ 852,163	
旅費			0	50,822	△ 50,822	
消耗品費	200,000		200,000	125,691	74,309	
会議滞在費			0	0	0	
印刷製本費			0	122,850	△ 122,850	
通信費	440,000		440,000	711,757	△ 271,757	
使用料及び賃借料	0	0	0	36,142	△ 36,142	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	36,142	△ 36,142	
備品購入費			0	10,975	△ 10,975	
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	38,000		38,000	93,000	△ 55,000	
職員等研修費	30,000		30,000	11,938	18,062	
振込手数料			0	643	△ 643	
リース料			0	319,280	△ 319,280	
手数料			0	203	△ 203	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	86,862	△ 86,862	
事業費	1,603,000	0	1,603,000	1,284,803	318,197	
協力医	630,000		630,000	483,000	147,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	515,000		515,000	607,449	△ 92,449	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	143,000		143,000	136,976	6,024	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000	57,378	257,622	予算：指定額
その他			0	0	0	
管理費	607,000	0	607,000	639,355	△ 32,355	
光熱水費	300,000		300,000	245,500	54,500	
清掃費	70,000		70,000	100,626	△ 30,626	
機械警備費	60,000		60,000	12,018	47,982	
設備保全費	165,000	0	165,000	281,211	△ 116,211	
空調衛生設備保守	73,000		73,000	56,078	16,922	
消防設備保守	5,000		5,000	8,011	△ 3,011	
電気設備保守	20,000		20,000	12,257	7,743	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	67,000		67,000	41,400	25,600	
共益費			0	0	0	
その他	12,000		12,000		12,000	
修繕費	126,000		126,000	44,671	81,329	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	35,114,000	0	35,114,000	35,653,150	△ 539,150	
差引	36,408	177,600	214,008	△ 2,586,250	2,800,258	

自主事業費 収入	0	148,600	148,600	148,600	0	
自主事業費 支出	973,000	0	973,000	801,803	171,197	
自主事業 収支	△ 973,000	148,600	△ 824,400	△ 653,203	△ 171,197	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和2年度 屏風ヶ浦地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:屏風ヶ浦地域ケアプラザ

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位:千円)

	科目	(介護予防)認知症対応型通所介護			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,399			8,600		8,600	20,177		20,177	101,898		101,898	通所介護に計上		0
	その他	326	0	326	0	0	0	10,788	0	0	9,920	0	9,920	0	0	0
	利用者負担額	326		326			0			0	9,920		9,920			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	収入合計(A)	4,725	0	4,725	8,600	0	8,600	30,965	0	30,965	111,818	0	111,818	0	0	0
支出	人件費	通所介護に計上		0	6,952		6,952	17,274		17,274	72,711		72,711	通所介護に計上		0
	事務費	19		19	300		300	698		698	18,382		18,382	通所介護に計上		0
	事業費	通所介護に計上		#VALUE!	60		60	77		77	13,786		13,786	通所介護に計上		0
	管理費	通所介護に計上		#VALUE!	150		150	26		26	750		750	通所介護に計上		0
	その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	支出合計(B)	19	0	#VALUE!	7,462	0	7,462	18,075	0	18,075	105,629	0	105,629	#VALUE!	0	0
	収支 (A) - (B)	4,706	0	#VALUE!	1,138	0	1,138	12,890	0	12,890	6,189	0	6,189	#VALUE!	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和2年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1: 地域活動交流事業
- 2: 地域包括支援センター運営事業
- 3: 生活支援体制整備事業
- 4: 共催 (1と2)
- 5: 共催 (1と3)
- 6: 共催 (2と3)
- 7: 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1: 優先的に取り組みが求められる事業
- 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1: 高齢者
- 2: 障害児・者
- 3: 養育者及び乳幼児
- 4: 子ども・青少年
- 5: 地域
- 6: 事業者
- 7: その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	障害者スポーツ余暇支援COSMOS	平成23年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	余暇活動の場が少なく、引きこもりがちになりやすい一般就労や特例子会社に就労している障害者を対象とした健康維持のためのスポーツ余暇活動。	2: 障害児・者	2: 障害児・者	フットサル、準備体操、ストレッチ、バス、ドリブル、シュート練習、ミニゲーム等 開催: 毎月1回(日曜日、8月お休み) 3月はスポーツフェスタ参加 講師: 磯子スポーツセンター職員	7	79
2	スマイルティーンズ	平成21年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	障害を持つ中高生の夏期・冬期の長期休暇中の居場所と社会活動の場の提供。	2: 障害児・者	2: 障害児・者	コロナウイルス感染拡大予防対応のため実施出来ず。	0	0
3	3B親子体操	平成20年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	乳幼児とその親と一緒にする体操教室を行うことにより、親子の絆を育むとともに健康づくりの一助となす。また、同じ養育の悩みを持つ親同士の交流の場となる。	3: 養育者及び乳幼児	3: 養育者及び乳幼児	日本3B体操協会公認指導員を講師として実施。専用用具(ボール、ベルダー、ベル)を使用した体操を行う。 開催: 毎月1回(8月、1月お休み)	5	91
4	コロポックルの音あそび	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	0歳から音楽に親しみ「感じるこころ」「聴くこころ」「見るこころ」など豊かな情操と感性を育むことを目的とし、同時に地域と繋がることにより居場所となり参加者同士のコミュニケーションの場となることを目的とする。	3: 養育者及び乳幼児	3: 養育者及び乳幼児	リズムに合わせて親子でからだを動かしたり、小さな楽器の音を出したり、絵本に出てくる動物の鳴き声を聴いたり声に出してマネをするなどして0歳児から音楽に親れ合う。 開催: 毎月1回	9	224
5	わくわくキッズ	平成23年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	屏風ヶ浦保育園、屏風ゆめの森保育園、ケアプラザが共催して開催することにより、地域へ向けた子育て支援活動を実施する。地域に開かれた社会資源としての位置づけを明確にし、地域の中での広がりを持った保育活動の拠点のひとつとなることを目的とする。	3: 養育者及び乳幼児	3: 養育者及び乳幼児	コロナウイルス感染拡大予防対応のため実施出来ず。	0	0
6	将タイム～将棋に親しもう～	平成31年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	小学生を対象としたサロンを定期的に開催することで、地域のボランティアさんや他の小学校の子ども達との交流、繋がりをつくる。	4: 子ども・青少年	4: 子ども・青少年	コロナウイルス感染拡大予防対応のため実施出来ず。	0	0
7	オヤジの台所	平成23年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	高齢者支援。団塊世代の男性のコミュニケーション作り。料理を通じて食や健康への意識を高める。	1: 高齢者	5: 地域	男性向けにゆっくり、楽しく家庭料理を習う。実習中に野菜・果物など使う食材の効能や適正な調理法、調理の減塩方法などを聞く。 開催: 毎月1回(8月、2月お休み)	7	26
8	至福の旬菜ごはん	平成30年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	健康生活支援。普段の家庭料理を旬の食材を使って料理することで健康に対する意識を高め家庭でも健康に対する意識が高まり会話が広がる手助けとなることを目的とする。	5: 地域	5: 地域	旬の食材を使った季節感のある献立を実習し、見た目にも美しい盛り付け方も学ぶ。 開催: 年4回開催予定	3	12
9	手作りパン講座	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	健康生活支援。手軽にできる手作りパンを学びながら、地域の同士交流してもらう。又家庭内で健康や食事・料理に関する会話や興味が増える手助けとなる事を目的とする。	5: 地域	5: 地域	手軽で本格的なパンを、生地作りから実習する。作ったパンの種類に合わせて、飲み物やサラダ・スープなど、季節の野菜や果物を使った料理等も添える。 開催: 年4回開催予定	1	2
10	男性が作る行事食	平成30年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	高齢者支援。地域の団塊世代男性のコミュニティ作り。行事食を通じて日本の伝統行事や文化に触れる。	1: 高齢者	5: 地域	男性の為の料理教室。行事食の由来や楽しみ方を聞きながら実習を行う。 開催: 年2回	1	1
11	和菓子講座	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	健康生活支援。地域の様々な年代の方たちの交流。季節感のあるお菓子を手作りすることで、日本の季節・伝統文化などへの関心を高め、健康に対する意識も高めることを目的とする。	5: 地域	5: 地域	コロナウイルス感染拡大予防対応のため実施出来ず。	0	0
12	おんぶの輪♪	平成27年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	楽しく大きな声で歌を歌うことにより、脳の働きの活性、ストレスの解消など、日常を健やかに送り、また地域の方たちのコミュニケーションの場となることを目的とする。	5: 地域	5: 地域	季節にあった様々なジャンルの歌を、大きな声で楽器を見ながら歌う。開始時に簡単な準備体操と発声練習をする。 開催: 毎月1回(1月お休み)	4	50
13	健康サポート体操	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	自宅でも行える健康体操を体験し、健康増進を図る。	5: 地域	5: 地域	手軽なフィットネスツールを使った地域にお住まいの方を対象とした健康体操。	8	138
14	ボディメイクエクササイズ	平成31年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	姿勢や筋力維持など、日頃の体力維持、健康維持に繋げる。これまでケアプラザをあまり利用することのなかった年代の方たちに参加してもらうことでケアプラザの周知に繋げる。	5: 地域	5: 地域	ボクシングエクササイズを応用した健康エクササイズ。初めての方が幅広い世代(20代～50代)が参加できる内容となっている。	8	57
15	多目的ホール開放日	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て支援。子育て世代の居場所作り。	3: 養育者及び乳幼児	3: 養育者及び乳幼児	多目的ホールを開放し、マットの上で体を動かしたり、おもちゃで遊んだり、保育ボランティアさんと触れ合ったり。思い思いに時間を過ごす。	7	139
16	地域の方が講師になる講座	平成24年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の方々の得意なものを地域へつなげる。	5: 地域	5: 地域	地域の方々が講師となる講座。料理講座や物作りなど。今年度はヘルスマイト	1	12
17	文化祭	平成22年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	文化祭の開催によって、ケアプラザを地域の方に、身近な存在として感じていただく。ケアプラザの貸室利用団体の日頃の練習の発表の場として、また作品展示の場として活動の周知を図り、地域と繋がることにより居場所作りを繋げることを目的とする。	5: 地域	5: 地域	コロナウイルス感染拡大予防対応のため実施出来ず。	0	0
18	ボランティア交流会	平成23年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ボランティア活動をしている貸室利用団体と登録ボランティア、ケアプラザとの交流を図り、ボランティアさん同士の情報を共有することで、ボランティア活動に繋げる。日頃の活動への感謝の意を伝える。	7: その他	5: 地域	コロナウイルス感染拡大予防対応のため実施出来ず。	0	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
19	おもてなし講座	2020年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域の方が、サロンや居場所づくりの担い手となり、会を催すときに有効な知識やスキルを身に付ける講座を開催し、居場所づくり等のきっかけとなり、後に担い手となることを支援していく。	5:地域	5:地域	①コーヒーの淹れ方を学びゆったりとコーヒーを味わう空間づくりを学ぶ。 ②テーブルセッティングの基本や良い場づくりの方法などを講座を通して学ぶ。またサロンなどで参加者と一緒に楽しめる小物作りや場づくりの方法などを学ぶ。 ※新型コロナウイルスの影響で中止となる。	0	0
20	第3回もりもり広場連絡会拡大版	2018年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	毎月1回、もりもり広場の広場長とケアプラザ関係部門とで連絡会を開催している。その会では、月の利用者の推移や活動内容の検討、ボランティア活動の場の活用などの意見交換を行なっている。拡大版の連絡会を開催し、参加者を多岐に広げ多方面での情報共有や意見交換を行い、更に参加者の幅が広がりより良い企画や活動の活性化を図ることができるための支援をする。また課題の共有や解決に向けた意見交換を行う。	5:地域	5:地域	もりもり広場に関わる関係者やボランティアが集まり、意見交換や情報共有をする。また、前回の連絡会から1年が経過し、もりもり広場のイベントや介護予防プログラムの参加者など、広場長から広場の様子や課題などを報告し、それらの意見交換を行う。 ※新型コロナウイルスの影響で中止となる。	0	0
21	Yワイひろばの活用について話し合う会	2019年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	前回の話し合いから1年が経過したので、どのような活動が行われてきたかの報告と、その後のご近所の方々からのご意見をお伺いし共有すること、今年度から開始される横浜市政策局のこども学習支援モデル事業について、局と法人に説明をしていただきご近所への周知の場とする。	5:地域	5:地域	・これまでの活動について、Yワイひろばについてのチラシを配布し説明をする。(太陽住建より) ・これまでの屏風ヶ浦・新杉田地域ケアプラザでの活用について報告をする。(両ケアプラザ生活支援コーディネーターより) ・これから始まる新しい活動や事業について説明する。(政策局/たすけあいゆいより) ※新型コロナウイルスの影響で中止となる。	0	0
22	森町内会と施設事業との意見交換会	2017年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	森町内会にある施設事業所との顔の見える関係づくりを継続していくことで、地域の見守りや繋がりができることを目的とする	5:地域	5:地域	集まった町内会や民生委員、施設事業所などがそれぞれの活動内容を共有し、その中で気づきや課題などの意見交換をする。 ※新型コロナウイルスの影響で中止となる。	0	0
23	地域支援連携事業	2020年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	・地域づくりを地域住民や団体等と一緒に進めていくためにケアプラザとしての役割や目的を周知したうえで、地域に信頼される存在となつて、地域づくりを推進していく。 ・居場所や生活支援が多様な選択ができるよう、地域に根差した活動を地縁団体や民間企業など、多様な主体へ働きかけをする。	5:地域	5:地域	・屏風ヶ浦地区社協支援 ・障害事業との情報交換会について ・ふれあいサロンComodo支援 ・Yワイひろば連絡会 ・Yワイひろばフラワーアレンジメント教室 ・Yワイひろばはじめてのスマホ体験教室 ・Yワイひろばリビングラボ ・もりもり広場連絡会 ・汐見台語らい処支援 ※詳細は下記に有り	0	0
24	地域支援連携事業 (屏風ヶ浦地区社協の支援)	平成30年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	屏風ヶ浦地区社協の活動や地域福祉保健計画(スイッチON機子屏風ヶ浦地区)の推進に向けた各自自治会町内会の活動を通して、ケアプラザの役割や情報の提供を行い、地域の課題解決に結びつける。	5:地域	5:地域	随時開催。 コアメンバー会議。	8	62
25	地域支援連携事業 (障害施設事業所との情報交換会について)	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	過去3回にわたり(1回/年)協議会を開催し、森町内会(単位町内会)の自治会長・民生委員と、町内会にある障害施設事業所との情報交換会を開催してきており、ケアプラザが事務局となり開催準備や内容の検討に関して担ってきた。障害施設事業所は森町内会だけに限らず、屏風ヶ浦地区に多く点在していることでも特徴の一つである。今年度、第4期地域福祉保健計画策定の年となり、屏風ヶ浦地区として障害施設事業所など多様な主体との意見交換や地区別計画の策定を行ってきたことから、地区全体での関わりや繋がりを更に強化していくためにも、屏風ヶ浦地区社会福祉協議会の事業の一つに置かれるよう働きかけをしていく。	5:地域	5:地域	障害施設事業所がある屏風ヶ浦地区の自治会町内会会長に集まってもらい、今までの経緯などを報告するとともに、次年度からの屏風ヶ浦地区社会福祉協議会の事業計画の一つとして受け入れてもらえるよう、意見交換をする。	1	11
26	地域支援連携事業 (ふれあいサロンComodo)	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域の方で得意な事や、やってみたいことを通して仲間づくりをし、ボランティア活動や社会参加を促し地域の担い手や居場所づくりを目的とする。	5:地域	5:地域	随時開催。 関係者連絡会を開催し、情報共有と意見交換を行う。	15	62
27	地域支援連携事業 (Yワイひろば連絡会)	平成31年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域づくりを地域住民や団体等と一緒に進めていくためにケアプラザとしての役割や目的を周知したうえで、地域に信頼される存在となつて、地域づくりを推進していく。	5:地域	5:地域	月1回開催。 関係者連絡会を開催し、情報共有と意見交換を行う。	12	72
28	地域支援連携事業 (Yワイひろばフラワーアレンジメント教室)	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域の商店(花屋)の方を講師にYワイひろばの居場所を活用し、近所にお住まいの方々等を対象にした、フラワーアレンジメントの講座を開催することで、Yワイひろばの活用の推進を図るとともに、地域住民の社会参加や交流をすることにより、地域の課題解決の場となることを目的とする。	5:地域	5:地域	①季節に合った花をアレンジし趣味の時間を参加者で共有することで、仲間づくりが行える。 ②花について講師から学び、濃いの日常を過ごすことで毎日を健康に過ごすことができる。 ③講座の進め方やスケジュールについて、参加者の希望や目的を聞きながら進めていく。	2	18
29	地域支援連携事業 (Yワイひろばはじめてのスマホ体験教室)	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	①第4期地域福祉保健計画のアンケート等からコロナ禍において三密を避けなければならない状況から地域の見守りや、社会交流の不参加などもあり、オンラインの活用や普及啓発が急務となっている。	5:地域	5:地域	・開催に向けた打ち合わせ ①お気軽体験会…スマホってどんなもの？興味はあるけど不安な方にスマホのいろはを体験 ②かんたん入門編…かんたんに使うコツや日常よく使う機能を中心に学ぶ ③やさしい基本編…基本的な使い方に加え人気の便利機能を学ぶ	10	61

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	地域支援連携事業 (Yワイひろばリビングラボ)	令和2年度 (1月)	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	リビングラボは地域住民、地域ケアプラザ、行政、企業、NPO法人、学生など産官学民を巻き込んで地域課題の解決や、地域活性化のに向けた取り組みや働きかけを生み出していく場となる。 Yワイひろばリビングラボでは、防災に特化し地域の防災力を高める取り組みにつなげていく。	5:地域	5:地域	Yワイひろばは空き家を活用した拠点だが、防災シェルターや独立型太陽光発電システムを導入してしており、地域の防災拠点としていくことや、防災マップやエコバンクの作成と普及啓発などを通して地域のつながりに取り組む。	4	45
31	地域支援連携事業 (もりもり広場連絡会)	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域の方で得意な事や、やってみたいことを通じて仲間づくりをし、ボランティア活動や社会参加を促し地域の担い手や居場所づくりを目的とする。	5:地域	5:地域	・地域づくりを地域住民や団体等と一緒に進めていくためにケアプラザとしての役割や目的を周知したうえで、地域に信頼される存在となつて、地域づくりを推進していく。 ・居場所や生活支援が多様な選択ができるよう、地域に根差した活動を地縁団体や民間企業など、多様な主体へ働きかけをする。	11	21
32	地域支援連携事業 (汐見台語らい処)	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域の方で得意な事や、やってみたいことを通じて仲間づくりをし、ボランティア活動や社会参加を促し地域の担い手や居場所づくりを目的とする。	5:地域	5:地域	・地域づくりを地域住民や団体等と一緒に進めていくためにケアプラザとしての役割や目的を周知したうえで、地域に信頼される存在となつて、地域づくりを推進していく。 ・居場所や生活支援が多様な選択ができるよう、地域に根差した活動を地縁団体や民間企業など、多様な主体へ働きかけをする。	4	31
33	いきいきシニアセカンドライフ講座		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に対して福祉・保健の観点からお役立ち情報の提供を行う。	1:高齢者	5:地域	包括の三職種が選択した内容で、依頼した外部講師等による講義を行う。年間8回を目標として実施する。	5	68
34	介護者のつどい	H29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護という悩みを持つ方々と語り合ったり、みんなで歌を歌ったりすることに、少しでも悩みを軽減し、リフレッシュして頂く。	1:高齢者	5:地域	介護者同士、お互いの介護の悩みを話し合う。(奇数月第3土曜日・偶数月第3木曜日)	8	30
35	ケアマネサロン拡大版		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーの質の向上や各事業所間、異業種間との顔の見える関係作りを目的とする。	6:事業者	1:高齢者	区内包括支援センター・主任ケアマネ連絡会共催も含め、年に6回〜7回程度を目標に開催する。	4	67
36	ケアマネサロン独自版		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	屏風ヶ浦地域のケアマネジャー支援として、また顔の見える関係作りを目的とする。	6:事業者	1:高齢者	ケアマネジャーの質の向上のため、屏風ヶ浦OP包括独自の取組として、年に1〜2回程度を目標に開催する。	0	0
37	男性介護者のつどい	H31年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	男性介護者同士の連携を目的とし、気軽に介護に対する男性特有の悩みについて話し合う。	1:高齢者	5:地域	男性職員が聞き役となり、介護の悩みについて話し合う。年2〜3回程度を目標として実施する。	0	0
38	認知症サポーター養成講座	H25年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症についての、普及啓発。 地域の小中学校、地域の方、福祉事業所向けの講座。認知症になつても、地域に住み続けられるをスローガンに講座を行う。	5:地域	5:地域	認知症についての、知識や接し方を学び、認知症を身近に感じ、良く分からない怖い病気という認識を無くし、認知症の人を温かく見守る事の大切さを、DVDや寸劇を活用分かりやすく学ぶ。	3	395
39	屏風ヶ浦・汐見台地区キャラバン・メイト連絡会	H29年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	H29年度から定期的に開催していた連絡会を継続していくことで、会のメンバーとしての役割を持つていくことが出来るよう支援していく。 認知症施策や磯子区役所、屏風ヶ浦ケアプラザでの取り組みをともに検討しながら活動していく。また、キャラバンメイト同士の親睦を深めることで活動の促進にも努める。 連絡会を継続・発展させていくことで、今後の地域に対する認知症普及啓発を合同で取り組んでいく。	5:地域	5:地域	・キャラバン・メイト連絡会の活動について検討する。 ・認知症サポーター養成講座での参画。 ・地域における高齢者サロンでの参画。 ・奇数月第一金曜日開催	5	56
40	ブラチナ体操	H18年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	介護予防の運動機能向上、閉じこもり予防のための事業として実施	1:高齢者	1:高齢者	対象者は概ね80歳以上、座位中心の運動プログラム。体力低下、腰痛・膝痛があっても参加できる内容。講師は外部運動指導士。毎週木曜日開催。介護予防ミニ講座および交流の時間を含む。	39	298
41	すまいる体操クラブ	H22年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	介護予防の運動機能向上を目的とする。H22年より体力向上プログラムの卒業生グループを母体としながら、基本的に自立の高齢者を対象としている。	1:高齢者	1:高齢者	座位中心の運動中心に、しなやかな身体づくりをめざし、ストレッチ、リズム体操、マット運動、筋肉トレーニング、コグニサイズ等を含む内容。講師は外部の運動指導士。第1、第3土曜日開催。	18	167
42	ハビマ ヨガ	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	産後の身体を整えるのと同時に、親子のスキンシップにより健全な親子関係を築き、豊かな情操を育む。ママ同志の交流により子育ての不安や悩み、楽しみなどを共有し、頑張りママ達のコミュニケーションの場となることを目的とする。	3:養育者及び乳幼児	3:養育者及び乳幼児	ママとお子さんが一緒に参加するヨガの講座。9月、11月に開催。	2	27
43	父親育児応援講座	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	初めての育児を経験中のパパ達を応援・支援することを目的とする。コロナ禍で家族で過ごす時間が多くなり、お子さんと触れ合う時間が増えた家族との時間、コミュニケーションのとり方を学ぶ。	3:養育者及び乳幼児	3:養育者及び乳幼児	お子さんとの身体を使った遊び方や絵本の読み聞かせなど実践的な内容と講師の経験談を聞く。質問コーナーもあり。	3	61
44	スマホ・タブレット体験教室	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	ソフトバンク株式会社のスマホ講座を磯子区内のケアプラザで開催することで、コロナ禍における新しい生活様式の一つであるオンラインの活用の一助となる。 スマホを持っていない人や、持っているけれど活用が分からない人等の初心者向けの講座と、スマホやタブレットを使ってオンライン会議などを体験したい人向けに選択肢を設けて開催することで、使用目的に沿った講座となる。	5:地域	5:地域	①かんたん入門編・・・簡単に使うコツ、日常よく使う機能を中心に、楽しく分かりやすく学ぶ。 ②新しい生活様式編・・・新しい生活様式のためのスマホ・タブレットの活用講座。	2	37

